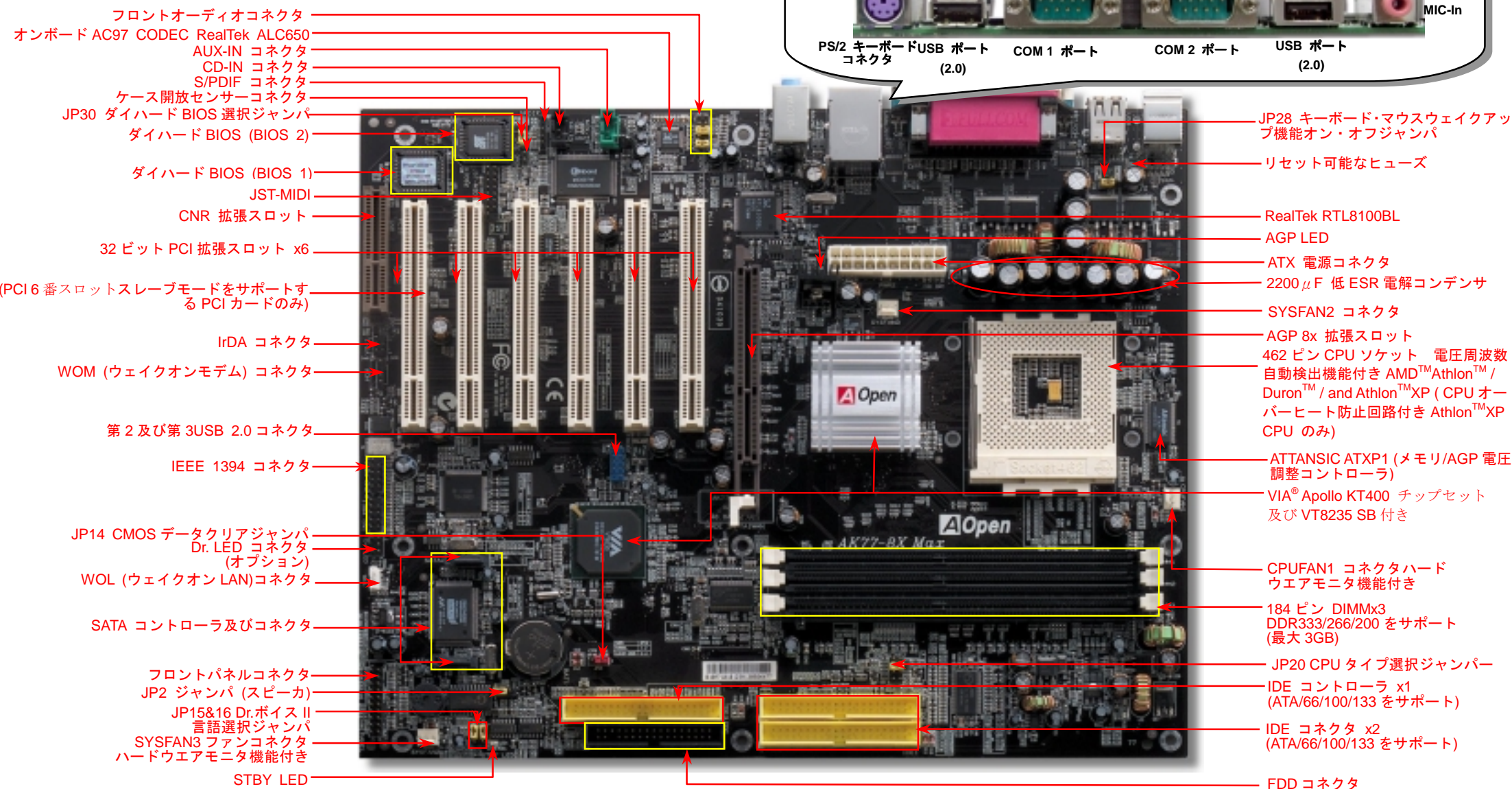


AK77-8X Max



当イージーインストールガイド中の規格及び情報を変更する権限は AOpen にあります。予告無く変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。

インストールの前に



このマザーボードを起動するために必要な情報はすべてこの簡単セットアップガイドに載せられております。さらに情報が必要なときは **Bonus Pack CD Disc** 上のオンラインユーザズマニュアルをご参照ください。地球環境の保護にご協力くださり感謝いたします。

アクセサリチェックリスト

- ✓ 本簡単導入ガイド x 1
- ✓ オンラインマニュアル x 1
- ✓ ハードディスク IDE ケーブル x 1
- ✓ 80 芯 IDE ケーブル x 1
- ✓ FDD ケーブル x 1
- ✓ IEEE 1394 ケーブル x 1
- ✓ シリアル ATA ケーブル x 1
- ✓ Bonus Pack CD x 1
- ✓ Norton Anti-Virus CD x 1



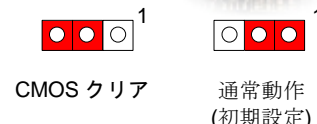
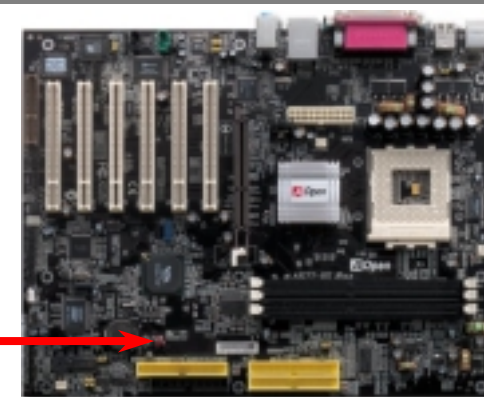
PART NO: 49.8A702.032

DOC. NO: AK778XM-EG-J0210B

1. JP14 による CMOS のクリア

CMOS をクリアする事で、システムを初期設定に戻すことができます。手順は以下の通りです。

1. システムの電源を切り、AC 電源コードを抜きます。
2. ATX 電源ケーブルを PWR2 コネクタから抜きます。
3. JP14 の 2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. 1-2 番ピンをショートして JP14 を通常の設定に戻します。
5. ATX 電源ケーブルを PWR2 コネクタに差し戻します。

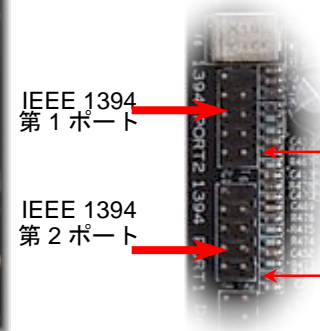


ヒント: CMOS はどんなときに必要?

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

2. オンボード IEEE 1394 コントローラ

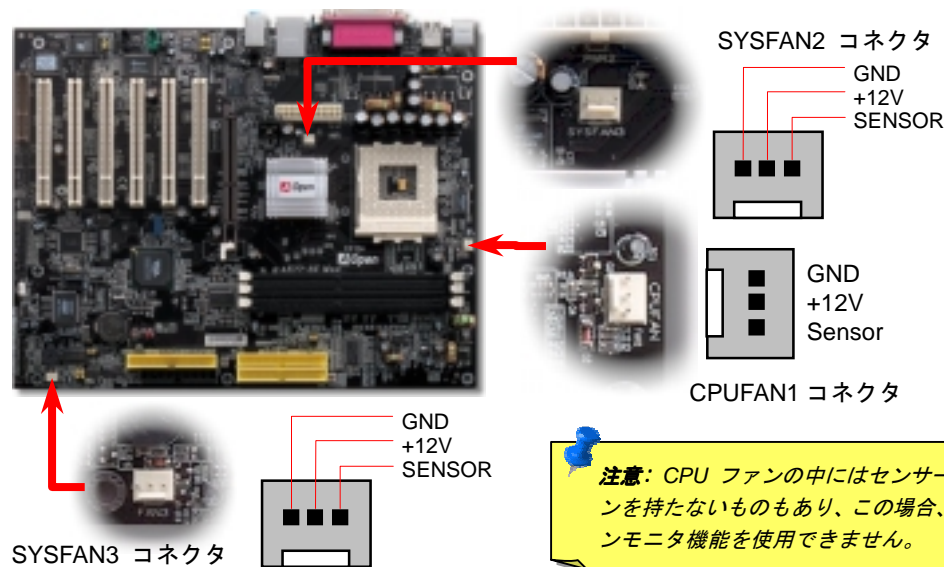
本マザーボードは IEEE 1394 コントローラとして TI TSB43AB22 をオンボードで搭載しています。IEEE 1394 は USB が 12Mb/s であるのに対し、最大 400Mb/s のデータ転送率を実現しています。したがって、IEEE 1394 はデジタルカメラ、スキャナなどの IEEE 1394 デバイスといった、高速データ転送を必要とする装置につながることが出来ます。適切なケーブルで装置を接続してください。



Shielding GND	10	9	KEY
1394_PWR	TPB-	TPB+	1394_PWR
TPB-	GND	GND	TPB+
TPA+	2	1	TPA-

3. CPU およびシステムファンのインストール

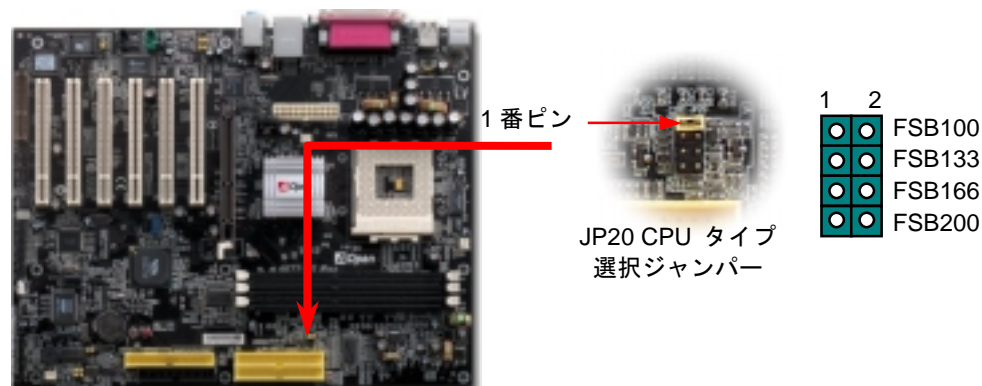
CPU ファンのケーブルをを 3 ピンの CPUFAN1 コネクタに差し込んでください。もし筐体ファンがあれば、SYSFAN2 か SYSFAN3 コネクタに差し込むこともできます



注意: CPU ファンの中にはセンサー用ピンを持たないものもあり、この場合、ファンモニタ機能を使用できません。

4. JP20 CPU タイプ選択ジャンパー

このジャンパーは PCI と FSB クロックを指定するために使います。一般的にオーバークロック動作をさせないのであれば初期設定値に設定するようにお勧めします。さらに、このマザーボードは BIOS 設定画面を通して CPUFSB クロックの“1MHz 刻み調整”機能をサポートしています。CPU タイプによって調整範囲は二つのレベルがあります: 100~129, 130~166 と 161~191 MHz。JP20 ジャンパーで CPU FSB クロックを変更した場合、“1MHz 刻み調整”機能で設定した値は変更され、JP20 ジャンパー設定に従います。



5. CPU 電圧およびクロック設定

CPU コア電圧の設定

本マザーボードは VID 機能をサポートしています。CPU コア電圧は自動的に検出され、その範囲は 1.1V から 1.85V です。通常 CPU コア電圧を設定する必要はありません

CPU 周波数設定

本マザーボードはジャンパーレス設計になっております。CPU クロックは BIOS 設定から行い、ジャンパーやスイッチによる設定は必要ありません。

BIOS 設定 > クロック・電圧コントロール > CPU クロック設定

CPU コアクロック = CPU FSB * CPU レシオ

CPU レシオ	5.5xから12.5xまでは0.5x刻み・17xから18xまでは1x刻み
CPU FSB (手動調整による)	FSB=100, 100~129 1MHz刻み調整テクノロジー FSB=133, 130~160 1MHz刻み調整テクノロジー FSB=166, 161~191 1MHz刻み調整テクノロジー

CPU	CPU コアクロック	EV6バスクロック	レシオ
Athlon 1G	1GHz	200MHz	10.0x
Athlon 1.1G	1.1GHz	200MHz	11.0x
Athlon 1.2G	1.2GHz	200MHz	12.0x
Athlon 1.3G	1.3GHz	200MHz	13.0x
Athlon 1G	1GHz	266MHz	7.5x
Athlon 1.13G	1.13GHz	266MHz	8.5x
Athlon 1.2G	1.2GHz	266MHz	9.0x
Athlon 1.33G	1.33GHz	266MHz	10.0x
Athlon 1.4G	1.4GHz	266MHz	10.5x
AthlonXP 1500+	1.3GHz	266MHz	10.0x
AthlonXP 1600+	1.4GHz	266MHz	10.5x
AthlonXP 1700+	1.46GHz	266MHz	11.0x
AthlonXP 1800+	1.53GHz	266MHz	11.5x
AthlonXP 1900+	1.6GHz	266MHz	12.0x
AthlonXP 2000+	1.667GHz	266MHz	12.5x
AthlonXP 2100+	1.73GHz	266MHz	13x
AthlonXP 2200+	1.80GHz	266MHz	13.5x
AthlonXP 2400+	2.0GHz	266MHz	15x
AthlonXP 2600+	2.13GHz	266MHz	16x
AthlonXP 2700+	2.16GHz	333MHz	13x
AthlonXP 2800+	2.25GHz	333MHz	13.5x
Duron 800	800MHz	200MHz	8.0x
Duron 850	850MHz	200MHz	8.5x
Duron 900	900MHz	200MHz	9.0x
Duron 950	950MHz	200MHz	9.5x
Duron 1G	1GHz	200MHz	10.0x
Duron 1.1G	1.1GHz	200MHz	11.0x

注意: CPUスピードが急速に変化しているので、お客様が本製品を購入され、取扱説明書を手にされたときよりもさらに高速なCPUが出荷されているでしょう。このテーブルは、参考程度であることを御留意下さい

警告: VIA® Apollo KT400 チップセットは 166MHz FSB (最大 333MHz に達する EV6 システムバス性能) 及び 66MHz AGP クロックをサポートしています。それ以上の設定はシステムの深刻なダメージを招く恐れがあります。

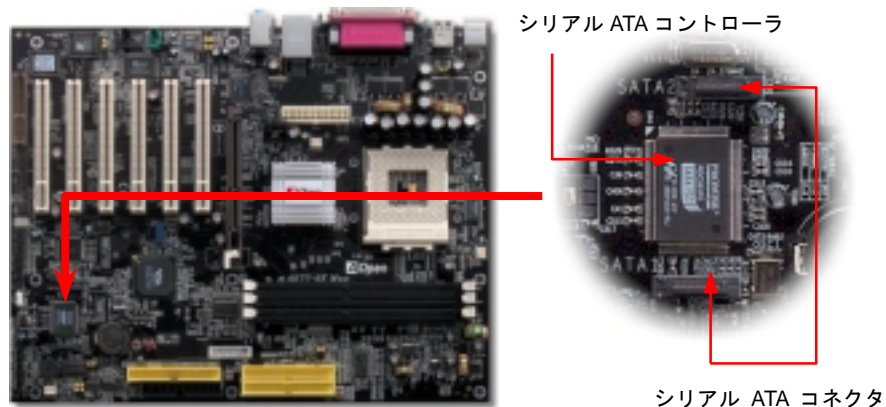
警告: 現在お使いの CPU でレシオを変更した後に、新しい CPU に置き換える場合は、システムが既存の設定で新しい CPU を駆動しようとするので、<Home>キーを使って CMOS をクリアし初期設定値に戻してください。

注意: オーバークロック動作時にシステムがハングアップないしは起動に失敗する場合は、<Home>キーを押して初期設定値に戻すか、あるいは AOpen “ウォッチドッグタイマー” 機能がシステムを 5 秒後にリセットしハードウェア自動検出機能が作動するのを待ちます。

NEW!

6. シリアル ATA サポート

このマザーボードは Promise シリアル ATA (PDC20375)コントローラーを採用し、150 Mbytes/秒の高速データ転送を可能にしています。既存の平行 ATA 仕様は 1980 年代にプロトコルが定められた時点で、当時の PC の標準的な記憶容量に準じわずか 3 Mbytes/秒でした。最新の新世代インターフェースである Ultra ATA-133 はバーストデータ転送により 133 Mbytes/秒のデータ転送率を誇ります。



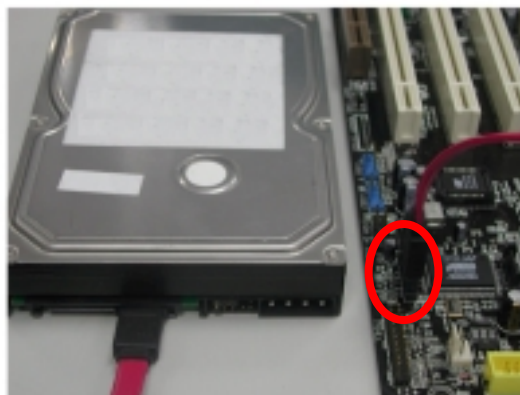
NEW!

7. シリアル ATA ディスクドライブの接続

シリアル ATA ディスクの接続には、7 ピンの ATA ケーブルをご使用ください。ケーブルの両端をディスクドライブとマザーボード上のシリアル ATA ヘッダーに接続します。既存のドライブと同様に電源ケーブルを接続してください。この装置はジャンパーフリー設計のため、マスターおよびスレーブ設定を行う必要はありません。2 台のシリアル ATA ディスクを接続した場合は、“Serial ATA 1” ヘッダーに接続された側がマスターになります。

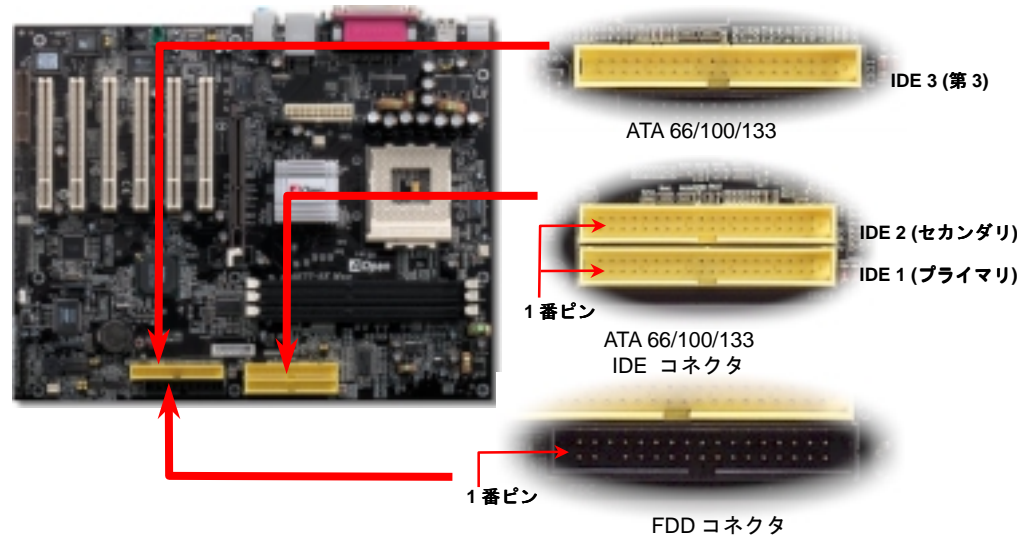


Serial ATA cable

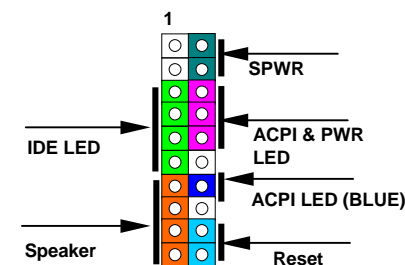
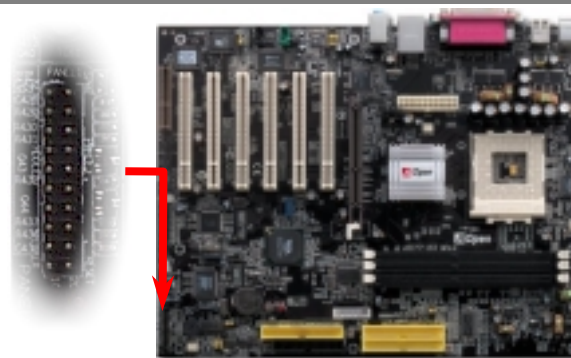


8. IDE 及びフロッピーケーブルの接続

34 ピンフロッピーケーブルと 40 ピン 80 線 IDE をそれぞれフロッピーコネクタと IDE コネクタに接続してください。1 番ピンの位置にご注意ください。間違えますとシステムに支障をきたす恐れがあります。

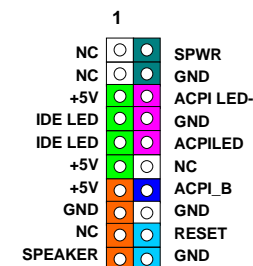


9. フロントパネルケーブルの接続



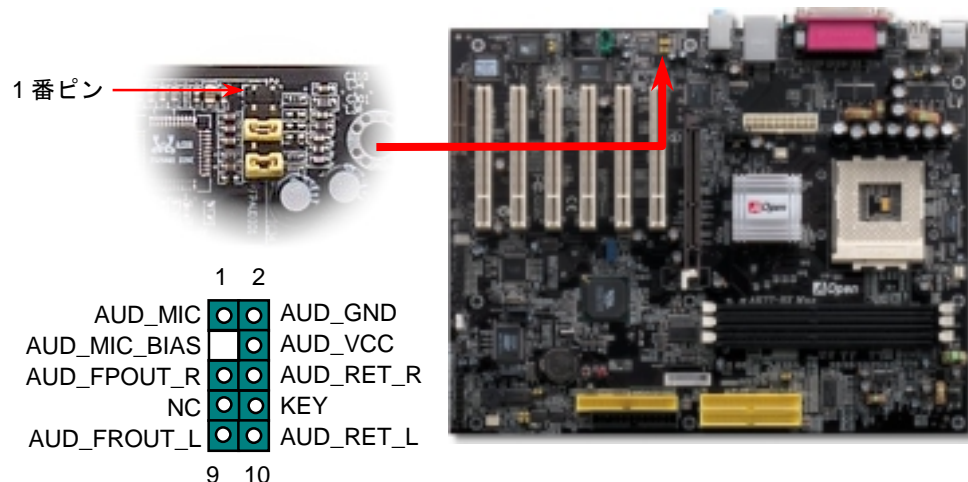
パワーLED、スピーカー、リセットスイッチコネクタをそれぞれのピンに接続してください。もし BIOS 設定で“Suspend Mode”の項目をオンに設定している場合、ACPI 及び電源 LED がサスペンド中に点滅します。

お手元の ATX 筐体の電源スイッチケーブルを確認してください。筐体のフロントパネルから出ている 2 ピンのメスコネクタです。このコネクタを SPWR と表示されたソフトウェア電源スイッチコネクタに差し込んでください。



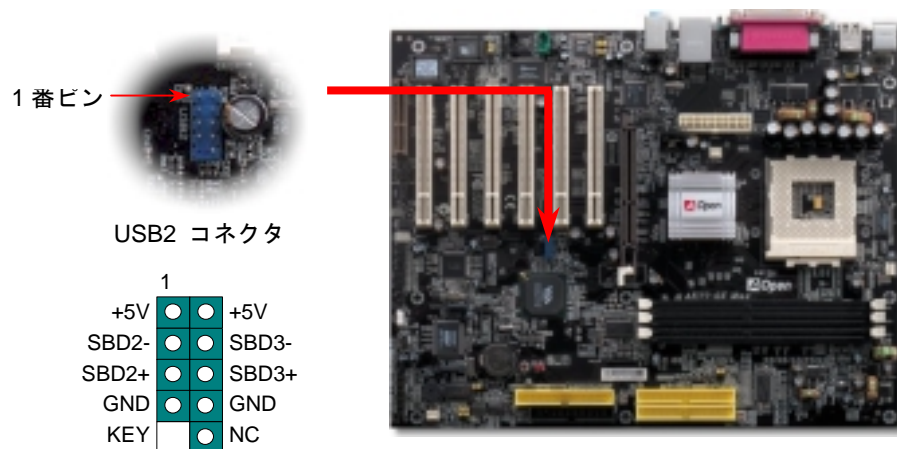
10. フロントオーディオコネクタ

お手持ちの筐体のフロントパネルにオーディオポートが装備されているなら、オンボードオーディオに接続できます。ケーブルを接続する前に 5-6 番ならびに 9-10 番のジャンパーキャップを抜いてください。フロントパネルにオーディオポートが無いときは、5-6 番と 9-10 番の黄色のジャンパーキャップは抜かないで下さい。



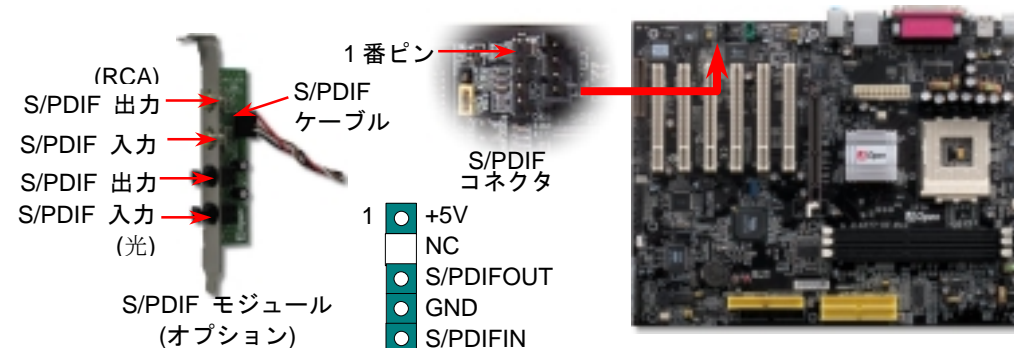
11. 6 個の USB2.0 コネクタをサポート

本マザーボードは、マウス、キーボード、モデム、プリンターなどのUSBデバイスを接続するためのコネクタを6個装備しています。PC99 バックパネルに2個のコネクタがあります。バックパネルか筐体のフロントパネルのコネクタに接続することが出来ます。既存のUSB 1.0/1.1 は12Mbpsの転送速度だったのに対し、USB 2.0は480Mbpsという既存の40倍以上という素晴らしいスピードを達成しています。



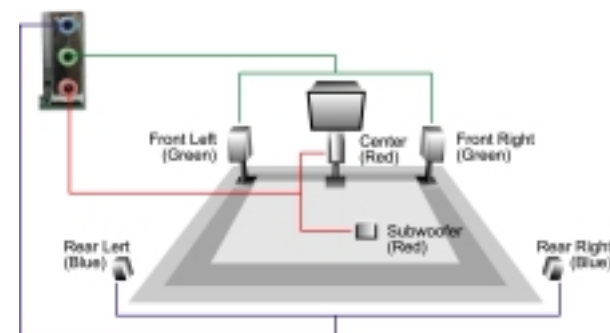
12. S/PDIF コネクタ

S/PDIF (Sony/Philips デジタルインターフェース)は最新のオーディオ転送ファイル形式で、光ファイバーを通してアナログに替わるすばらしい品質のデジタルオーディオを提供します。ご覧の通り通常 2 個の S/PDIF 出力があり、1 つは民生用オーディオ製品で最も一般的な RCA コネクタ、もう 1 つはより高音質の光ファイバーコネクタです。専用オーディオケーブルで S/PDIF コネクタと他の S/PDIF デジタル出力を装備した S/PDIF オーディオモジュールを接続することができます。しかしながら、この機能を最大限に生かすためには、デジタル出力に直接接続できる S/PDIF デジタル入力をサポートしたスピーカーを使用する必要があります。



13. スーパー 5.1 チャンネルオーディオ効果

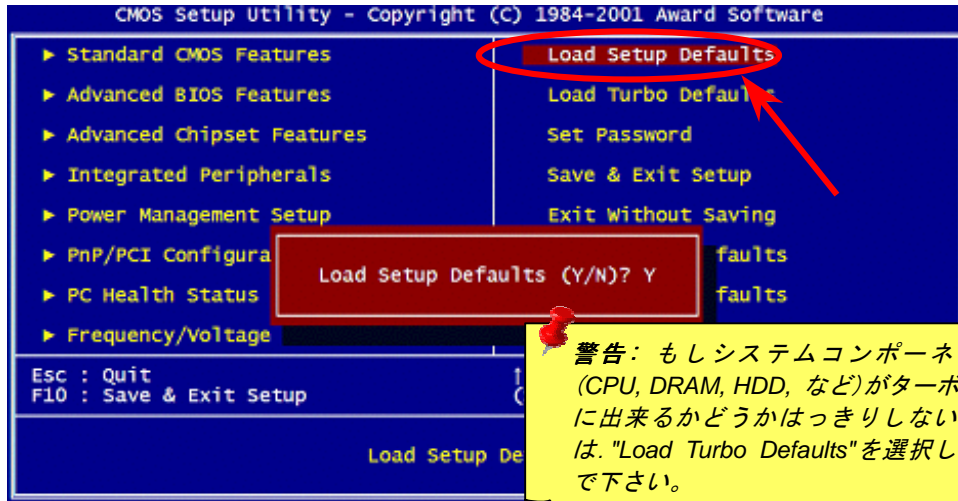
本マザーボードは 5.1 チャンネルオーディオをサポートした ALC650 CODEC を搭載し、まったく新しいオーディオ体験を可能にしています。ALC650 の革新的な設計により外部モジュールを一切必要とせずに、標準ラインジャック出力からサラウンドサウンドを出力できます。この機能を使うためには Bonus Pack CD 上のオーディオドライバならびに 5.1 チャンネルをサポートするオーディオアプリケーションソフトウェアをインストールする必要があります。下図は 5.1 チャンネルの標準的なスピーカー配置です。フロントスピーカーを緑色の“Speaker out”ポートに、リアスピーカーを青色の“Line in”ポートにセンタースピーカーあるいはサブウーハーを赤色の“Mic In”ポートに接続してください。



14. 電源の投入と BIOS 設定

Del

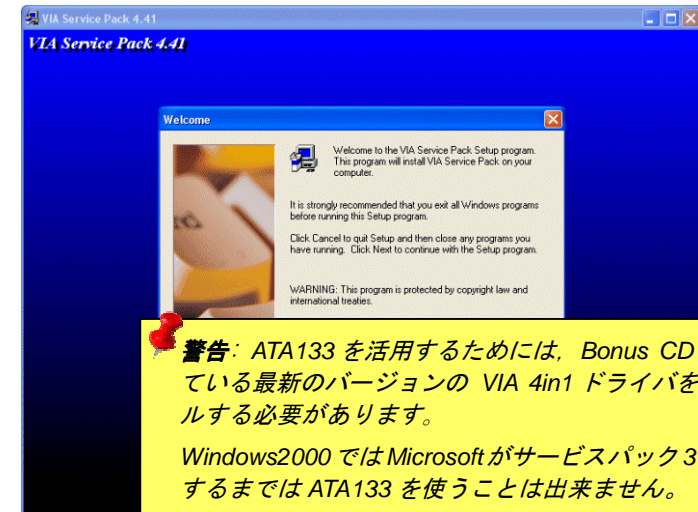
ジャンパー設定とケーブル接続の後に電源を入れ、システムが POST を行っている間にキーを押して BIOS 設定に移行します。最適なパフォーマンスを実現するために"Load Setup Defaults" を選択してください



警告：もしシステムコンポーネント (CPU, DRAM, HDD, など) がターボ設定に出来るかどうかははっきりしないときは "Load Turbo Defaults" を選択しないで下さい。

16. VIA 4 in 1 ドライバのインストール

Bonus Pack CD のオートランメニューから VIA 4 in 1 ドライバ (IDE Bus master (Windows NT 用), VIA ATAPI ベンダーサポートドライバ, VIA AGP, IRQ ルーティングドライバ (Windows 98 用), VIA レジストリ (INF) ドライバ) をインストールできます。

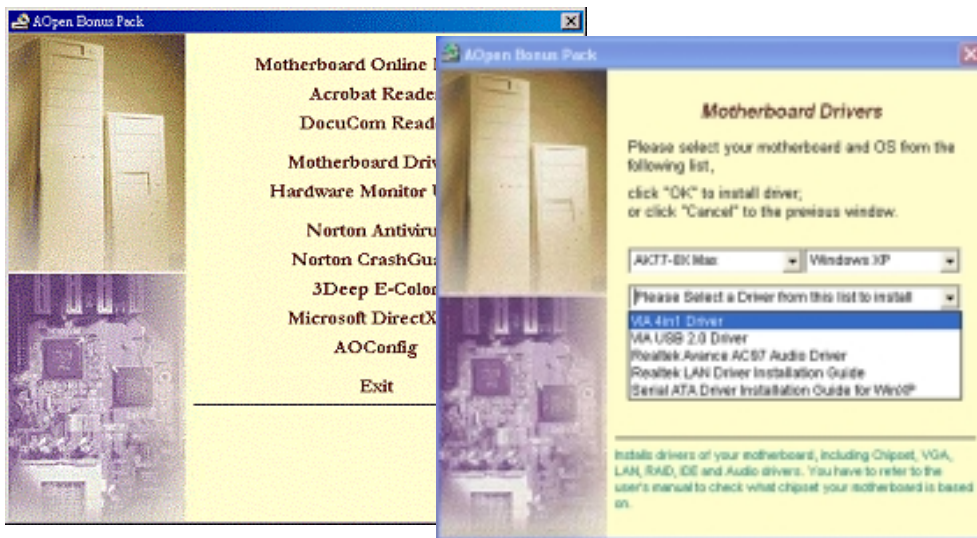


警告：ATA133 を活用するためには、Bonus CD に収録されている最新のバージョンの VIA 4in1 ドライバをインストールする必要があります。

Windows2000 では Microsoft がサービスパック 3 をリリースするまでは ATA133 を使うことは出来ません。

15. AOpen Bonus Pack CD

Bonus CD の自動オートラン機能を利用できます。ユーティリティとモデル名を選択してください。



17. Windows 環境下の BIOS アップグレード

EzWinFlash によって BIOS をアップグレードできます。作業を開始する前に、すべてのアプリケーションは終了させておくように強くお勧めします。

- 最新の BIOS パッケージ zip ファイルを AOpen のオフィシャルウェブサイトからダウンロードしてください。 (<http://www.aopen.co.jp>)
- ダウンロードした BIOS パッケージを (例: WAK778XM102.ZIP) を Windows 環境下では WinZip (<http://www.winzip.com>) で解凍します。
- 解凍したファイルを一つのフォルダに保存します。例えば WAK778XM102.EXE & WAK778XM102.BIN です。
- WAK778XM102.EXE を起動すると、EzWinFlash は自動的にモデル名と BIOS バージョンを検出し、BIOS が適合しない場合フラッシュ作業は中止されます。
- メインメニューでお好みの言語を選び、[フラッシュスタート] をクリックします。
- EzWinFlash は自動的に作業を完了し、Windows を再起動するかどうか尋ねてきます。[はい]を選んで、再起動してください。
- POST 中にキーを押して BIOS セットアップに移行し、"Load Setup Defaults" を選びます。それから "Save & Exit Setup" を選択して完了です。

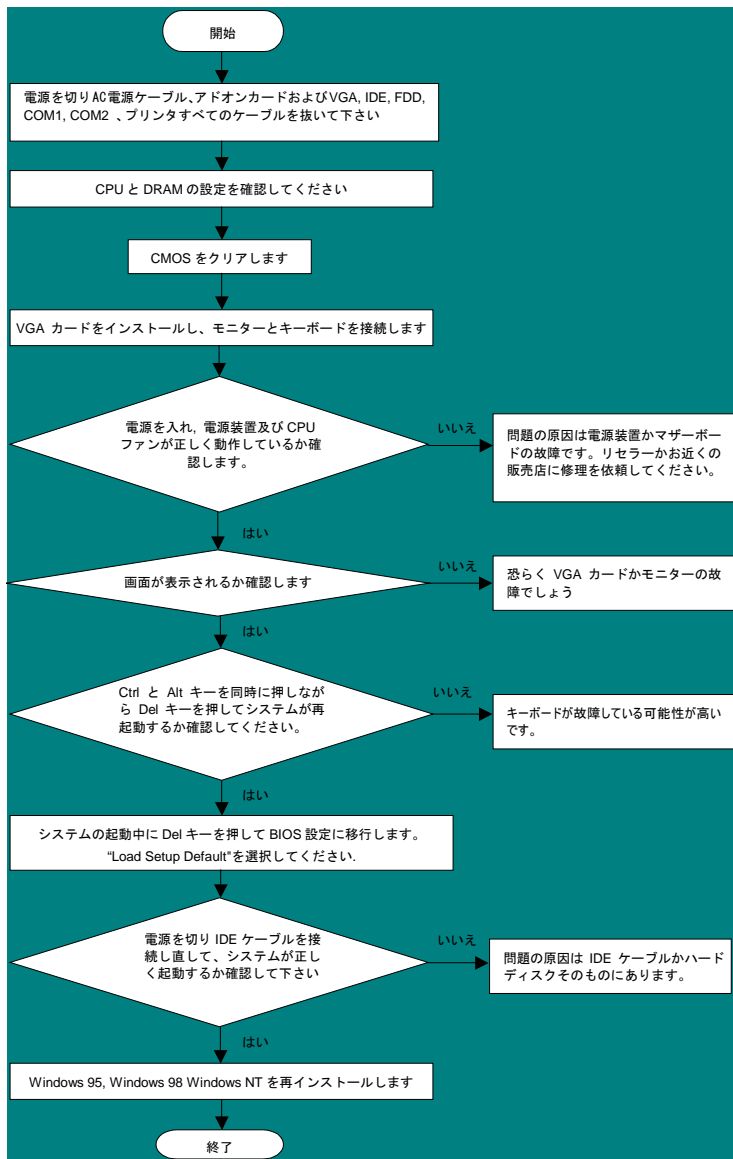
フラッシュ作業中に電源を切ったり、アプリケーションソフトウェアを起動したりしないように強くお勧めします。

警告：BIOS をアップデートすると既存の内容を永久的に書き換えてしまいます。既存の BIOS 設定や Win2000/WinXP PnP 情報は消去され、再設定を行う必要があります。



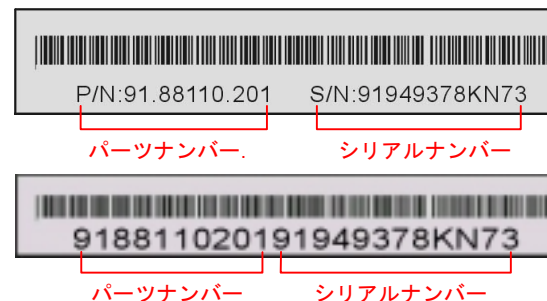
トラブルシューティング

システムの起動中にトラブルが発生したら、以下の手順に従って問題を解決してください



パーツナンバーとシリアルナンバー

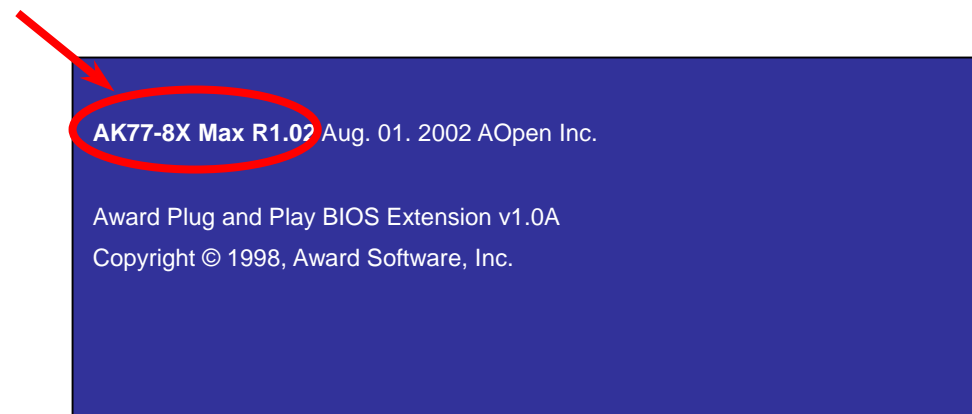
パーツナンバーとシリアルナンバーはバーコードのラベル上に印刷されています。このバーコードラベルは包装の外側、PCBコンポーネント側にあります。例えば以下のとおりです



P/N: 91.88110.201 がパーツナンバー、S/N: 91949378KN73 がシリアルナンバーです

モデル名と BIOS のバージョン

モデル名と BIOS のバージョンはシステムの初期起動画面(POST スクリーン)の左上の角に表示されます。例えば以下の通りです。



AK77-8X Maxはマザーボードのモデル名；R1.02はBIOSのバージョンです。



テクニカルサポート

お客様各位、

AOpen の製品をお買い上げいただき有難うございます。最高かつ迅速なサービスを提供することが私共の最優先事項とするところであります。しかしながら、私共は世界中から無数の E-mail やお電話をいただいております。すべてのお客様のニーズにおこたえするのが難しい状況です。それでご連絡いただく前に、以下の手順に従って問題解決の方法を確認してみられるようお勧めいたします。お客様のご協力により、より多くのユーザーの皆様に最高のサービスを提供できるようになります。

お客様のご理解に心より感謝申し上げます！

AOpen テクニカルサポートチーム一同

Pacific Rim
AOpen Inc.
Tel: 886-2-3789-5888
Fax: 886-2-3789-5899

Europe
AOpen Computer b.v.
Tel: 31-73-645-9516
Fax: 31-73-645-9604

China
艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司
Tel: 86-21-6225-8622
Fax: 86-21-6225-7926

Germany
AOpen Computer GmbH.
Tel: 49-1805-559191
Fax: 49-2102-157799

America
AOpen America Inc.
Tel: 1-510-489-8928
Fax: 1-510-489-1998

Japan
AOpen Japan Inc.
Tel: 81-048-290-1800
Fax: 81-048-290-1820

Web Site: www.aopen.com

E-mail: E-mail は以下のアドレス宛てにお願い致します。

English <http://english.aopen.com.tw/tech/default.htm>

Japanese <http://www.aopen.co.jp/tech/default.htm>

Chinese <http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>

German <http://www.aopencom.de/tech/default.htm>

Simplified Chinese <http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>

1

オンラインマニュアル: もう一度マニュアルを注意深くお調べ頂き、ジャンパー設定やインストールの手順が正しいかどうか確かめてください。

<http://www.aopen.co.jp/tech/download/manual/default.htm>

2

テストリポート: PC を組み立てる前に当社の互換性テスト上にあるデバイスを選択されるようにお勧めします。

<http://www.aopen.co.jp/tech/report/default.htm>

3

FAQ: 最新の FAQ (よく尋ねられる質問) に問題の解決方法が載せられているかもしれません。

<http://www.aopen.co.jp/tech/faq/default.htm>

4

ソフトウェアのダウンロード: 最新のアップデートされた BIOS/ユーティリティまたドライバがないかこのページをチェックしてください。

<http://www.aopen.co.jp/tech/download/default.htm>

5

ニュースグループ: コンピュータのエキスパートが投稿したニュースがあります。討議に参加して学ぶことができます。

<http://www.aopen.co.jp/tech/newsgrp/default.htm>

6

販売店やリセラーに連絡する: 弊社は製品をリセラー及び SI を経由して販売しております。お客様のシステム設定に精通しておりますので、より確実に問題を解決することができます。また、次に何かをお買い求めになるときに重要な参考情報を提供できるでしょう。

7

弊社へのご連絡: ご連絡いただく前にシステム設定の詳細な情報とエラーの症状を確認しておいて下さい。パーツナンバーとシリアルナンバーさらに BIOS のバージョンが分かれば助けになります。